

学びのデザインシート（授業前）

主体的・対話的で深い学びを実現する授業構想【作業学習／地域作業】

1. 対象 特別支援学校 高等部3年

任された仕事は、積極的に取り組むことができる生徒である。どの生徒も真面目で複数の仕事内容でも繰り返し行うことで、正確に活動に取り組むことができる。4月から、地域の家具雑貨販売店へ週一回出掛け、午前中に作業をしている。店では、駐車場・店内の清掃、配送トラックから家具を下ろす作業、家具の組み立て、衣服の値札貼等を行っている。学習を重ねる中で自分から会社の方やお客様へ挨拶をしたり、分からないことを自分から聞いたりして、作業内容を覚えてきている。

2. 単元名 「お客様のことを考えて、行動しよう」（全9時間）

3. 単元で育成を目指す資質・能力

知識及び技能	・手順書を読み取り、工具を正しく使い手順どおりに組み立てる。 ・商品を傷つけたり、落としたりしないように丁寧に扱う。 ・安全に道具を使う。
思考力，判断力，表現力等	・周囲の状況や運ぶ物の大きさに応じ、声を掛け合いながら安全に移動する。 ・判断できないときに会社の方に相談する。
学びに向かう力，人間性等	・商品がお客様の手に渡ることを考えて、自分から作業に取りかかったり、会社の方に作業の進め方を確認したりして取り組む態度を養う。

4. 本時の目標

- ・家具を傷つけないように運ぶことができる。
- ・状況に応じて会社の方と力を合わせて家具を受け取ったり、倉庫の決まった位置に運んだりすることができる。
- ・商品がお客様の手に渡ることを考えて、自分から作業に取りかかったり、会社の方に作業の進め方を確認したりして取り組むことができる。

5. 授業展開【 本時 】

解決したい課題や問い

安全・正確に荷物の移動をするためには、どうしたらよいだろう？

考えるための材料				
材料 A 解決したい問いを自分たちで気づくように投げ掛ける。	材料 B 荷物の運ぶ際の体の使い方を観察する。	材料 C 役割（ネーム書き、荷物の受け取り、倉庫場所への移動）の動きを確認する。	材料 D 倉庫の荷物置き場を確認する。 （ソファ、ベット、椅子など）	材料 E 会社の方に聞く、確認する。
想定される活動				
場所を思い出し、安全・正確に荷物を移動する目標を意識する。	姿勢を低くして荷物を押して運んだり、複数人で声を掛けたりして運ぶ。	立ち位置や体の向きを考えながら行動する。	置き場所の表示を見たり、「このあたりでいいですか？」と会社の方に聞いたりする。	「合っていますか？」「どこですか？」「〇〇ですね」「私運びます」と言う。

対話と思考（対話を通じた協働的な問題解決のプロセス）

- ①商品がお客様の手に渡ることを考えて、自分たちがどのように商品を扱ったら良いか、会社の方やお客様とはどのように関わったら良いかを考える場の設定をする。「商品を傷付けないようにして運ぶにはどうしたら良いだろう。」「会社の方は荷物をどのように運んでいるだろう。」「会社の方の運び方を観察してみよう。」
- ②前回の振り返りの時間に、図を使ってどの場所に立ったら良いかを考えたり、役割を相談したりする場面を設定する。「配送トラックから荷物を下ろしてから、どの場所にいたらよいだろう。」「何に気をつけたらよいのだろう。」「荷物を倒さずに運ぶにはどうしたらよいだろう。」
- ③現場で、この場面ではどう会社の方に言葉を掛けたら良いかを生徒に尋ねる。相談をしてその場面に応じた言葉を決める。「この場所で合っていますか？」「〇〇（場所の名前）ですか？」「私が運びます。」「一緒に運んでください。」「商品は〇〇〇です。」

学習の成果（予想される生徒のあらわれ）

倉庫内の場所を自分から会社の方に聞いて運ぶようになる。
自分より大きな荷物を運ぶ際には、他の人に協力を求め、一緒に運ぶ。
お客様の名前を書くときには、声に出して名前を確認する。
荷物にお客様の名前を書く人がいないときには、自分から書くようになる。
どの場面でもお客様に対してどのように行動したら良いかを考えて、素早く行動したり、相談して一緒に運んだりする。